学校だより 三年先の稽古

発行：校長　益子　朗

目指すべき生徒像
体　鍛える大信中生
徳　温ったか大信中生
知　学ぶ大信中生

スポーツの秋、文化の秋！ 輝け！大信中！

聖流祭が終わり、大きな行事が一段落し、学校では計算コンクールや３年生の受験対策に向けた放課後学習が始まりました。これから学校生活は否応なしに学習が中心になっていきます。しかし、スポーツや文化活動が全く終わってしまったわけではありません。各部とも、次なるステージが待っています。それぞれの場で、大いに輝いてください。

☆特設合唱部・音楽部

11月3日(日)
大信地域文化祭・笑福元気祭り

特設合唱部は文化祭で、音楽部は文化祭と笑福元気祭りの両方で演奏します。

☆男子ソフトテニス部

福島県新人大会
11月2日(土)個人戦
11月9日(土)・10日(日)団体戦
福島市民庭球場（森合）

受験生も頑張れ！

☆バドミントン部

団体戦・個人戦とも
11月3日(日)
郡山西部第二体育館

☆バレーボール部

11月10日(日)
猪苗代カメリーナ
11月9日(土)・10日(日)
あいづ総合体育館

チームには五十周年基金を拠出しました。今週末は朝日ラバー杯です。なお卓球部は大会は12月1日(日)で、県南大会出場が決まります。その結果次第で県大会出場が決まります。

※各部の健闘を祈ります。

校長のつぶやき

ラグビーW杯から学んだこと

日本で開催され、日本チームが初のベスト８で大いに盛り上がったラグビーワールドカップも大詰めですが、多くの人に大きな感動を与えてくれた素晴らしい大会だったと思います。

私も「にわか」ラグビーファンですが、この大会からとても大切なことを学ぶことができました。

まずは世界の強豪を次々に撃破してベスト８に勝ち上がったジャパンの快挙。おそらく実力的には平幕が横綱・大関に連勝したようなものです。しかし決して奇跡でもまぐれでもありません。

中学生諸君には「**絶対に勝てない相手などいないし、逆に絶対に勝てるという相手だっていない**」と話しました。

たとえ10回に１回しか勝てないほど手強い相手でも、中体連大会や高校受験など、**この一戦だけは是が非でも勝たなければならない戦い**があります。相手が強いからはなく、勝つためにひるむのでは言ってはなりません。

最高の準備をし、最高の力を出し切り、すべてやりきって勝利をつかむ。この姿をお手本にしなければなりません。

次に心に響いたのは「**ONE TEAM**」。ジャパンのメンバーの半数は外国人です。日本人同士でさえ最初から一枚岩ではなかったでしょう。チーム内でも対立や争いもきっとあったでしょう。それを一つにまとめ上げたリーチ・マイケル主将はニュージーランド出身。でも誰よりも強い気持ちで「日本のために」を貫きました。この心がなかったら勝利はなかったでしょう。もし部活や学級が一つの目標に向かわず、みんなバラバラだったら、目標など叶うはずがありません。

強いリーダーシップと、それを盛り立てるフォロワーシップの大切さも大いに学びたいものです。

そしてラガーメンの素晴らしいところは、なんと言っても「**NO SIDE**」の精神です。試合中は激しいプレーを応酬しても、試合が終わるまで取っ組み合いのようなわれわれ敵味方なく健闘を称え合う。私もラグビーを乱暴なスポーツだと誤解していたことを、今は恥じています。ラグビーは、とてもスポーツマンシップに溢れています。

**敵なくして相手を攻める。戦うときは勇猛果敢に戦い、容赦なく、許す。相手をそれを称え、試合を離れ、相手をそれを称え、試合を離れ、相手をそれを称え、試合を離れ、